

恵那市 山岡地区防災計画

～助け合い、支え合えるまちやまおか～

1 基本的な考え方

私たちは、防災における地域コミュニティの重要性、地域が災害に強くなければ、また地域コミュニティが防災に取り組まなければ、自らの命を守ることも自らの地域を守ることもできないということ、阪神・淡路大震災、東日本大震災という2つの大震災から学んだ。

地域防災の担い手であるコミュニティ構成員が、目標や課題を共有し、地区の防災・減災活動を実践するため、その指針となり模範となる地区レベルの防災計画を地域自身が持つことにより、地域防災力の一層の向上をはかることを目的として、山岡地区防災計画を作成する。

※ 山岡地区防災計画は、山岡地域自治区が主体となり、地区ごとの組織編成、通常時及び災害時の活動等を定め、予想される災害に応じた地域の住民がとるべき行動等の周知を図り、地域の防災力を高めます。

2 山岡地区の特性

(1) 地域特性

- ・ 恵那市の南部に位置する中山間地（中心部標高 450m）で、人口 4,200 人、1,500 世帯ほどの農山村集落。
- ・ 中心部を東西に流れる小里川及びその支流に沿って、大小 8 つの集落が散在する台地型の地形。

(2) 気象条件

- ・ 年間平均降水量は 1,700mm、年間平均気温は 12.2℃、冬期は特に寒さが厳しく、年間数日であるが、氷点下 10℃を下回ることもある。
- ・ 降雪量は年間最大 15 cm程度で、交通機関に及ぼす影響は年に 1～2 回程度（短期間で解消される。）

(3) 過去の災害の特徴

- ・ 当地区での大規模災害としては、元年災（平成元年 10 月）にさかのぼる。小里川及びその支流、久保原川、兼平川、於齟齬川等の溢水（いっすい）により床上、床下浸水など建物への被害の他、道路・農地の損壊、護岸の決壊、山地の崩壊、土砂流出等による家屋・耕地の流埋没等、豪雨によりもたらされた被害であったが、治水施設、河川改修等の整備も進み、その後は幸いにも大規模な災害に見舞われていない。

(4) 想定される災害

- i 豪雨による被害：地理的条件から、水害による被害。（小里川流域全域）
- ・ 小里川及び小河川がもたらす山地の崩壊、土砂流出等に起因する家屋・耕地の流埋没、

道路、橋梁等の損壊、林地の崩壊等は将来においても予想しなければならない。

- ・ 地区内の河川はそのほとんどが掘り込み河道で、住居等多くの建物が流されるほどの、高圧的かつ大量の出水による被害は想定されないが、50センチ前後の浸水は予想しなければならない。（短時間で解消）
- ii 風害（台風や竜巻など）による被害：台風による被害は、沿岸地域に比し軽微であるが、大型台風が本県西部を北上し、あるいは近傍を通過する場合にあっては、家屋や電柱・立木の倒壊等相当規模の被害の発生が予想される。
- iii 雪害による被害：直接的な被害は少ないが、倒木等により孤立する恐れが解消できていない地区がある。（馬場山田峯山地区）
- iv 地震による被害：これまでに地震による被害は記録がないが、今後予想される大規模地震による家屋の倒壊や火災等にも備えなければならない。

（5）地域・情報を知る

～8地域の地形特性から想定される災害（過去の被災記録より。）～

- ・ 馬場山田地区・・・護岸の決壊、土砂流出、農地（耕地）の崩壊、山地の崩壊、風雪害による立木の倒壊等、地震による被害
- ・ 田沢地区・・・土砂流出、農地（耕地）の崩壊、山地の崩壊、地震による被害
- ・ 上手向地区・・・護岸の決壊、土砂流出、農地（耕地）の崩壊、山地の崩壊、地震による被害
- ・ 久保原地区・・・護岸の決壊、土砂流出、農地（耕地）の崩壊、山地の崩壊、風雪害による立木の倒壊等、地震による被害
- ・ 下手向地区・・・護岸の決壊、土砂流出、農地（耕地）の崩壊、山地の崩壊、地震による被害
- ・ 釜屋地区・・・護岸の決壊、土砂流出、農地（耕地）の崩壊、地震による被害
- ・ 原地区・・・護岸の決壊、土砂流出、農地（耕地）の崩壊、地震による被害
- ・ 田代地区・・・護岸の決壊、土砂流出、農地（耕地）の崩壊、山地の崩壊、風雪害による立木の倒壊等、地震による被害

3 地域の課題

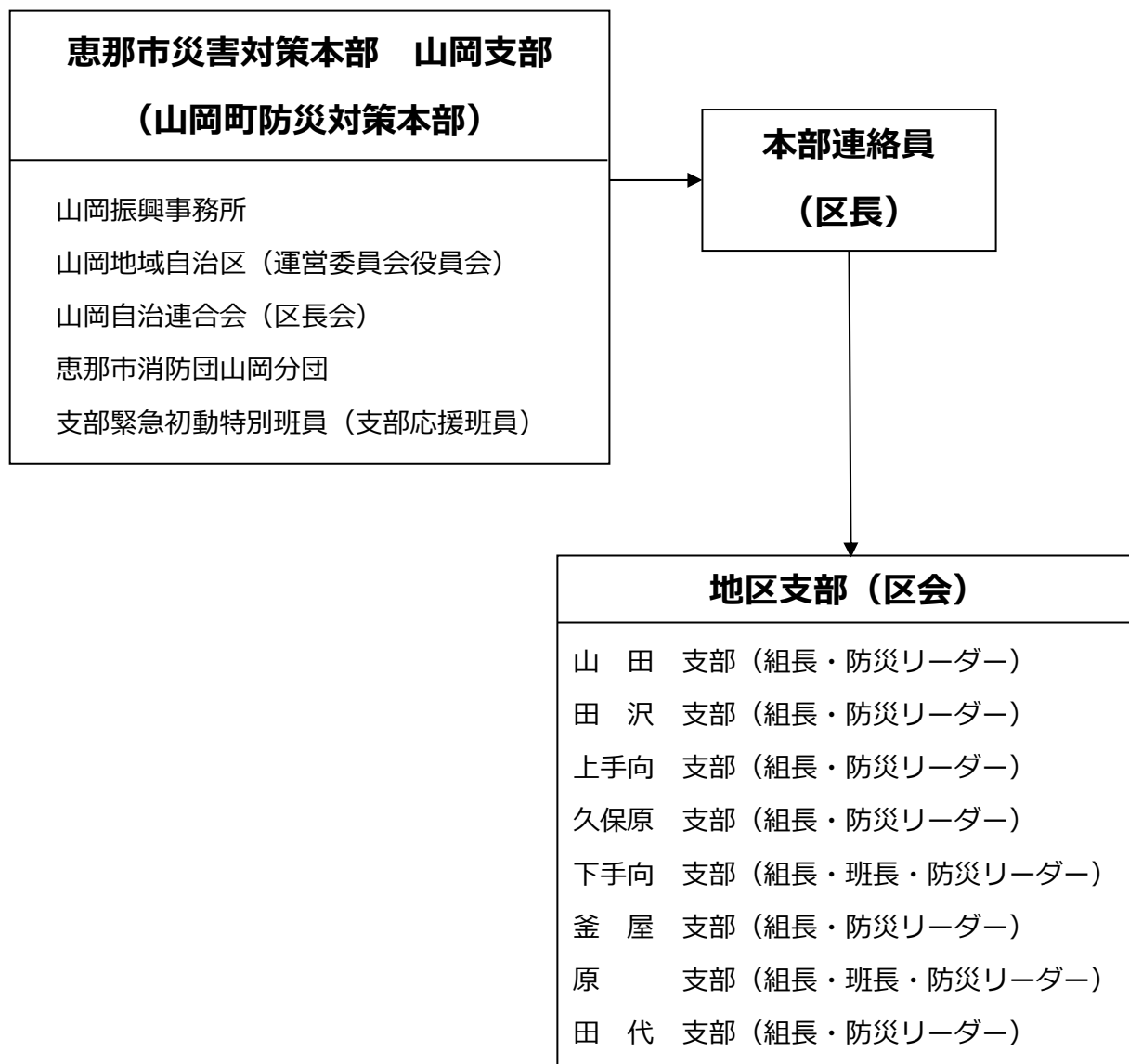
- ・ 人口減少と高齢化にともない、自治組織内の頼れるリーダー的人材（防災士等）が不足している。
- ・ 大規模災害の記憶が薄れているためか、災害に対する危機感がない。
- ・ 家族、自治会内での減災に対する話し合いが不足している。
- ・ 地区の一時避難所（避難場所）が災害の種類によっては適所とはいえない箇所がある。
- ・ 地区内での高齢者世帯、要配慮者、災害時避難行動支援者への支援体制の強化。
独居・高齢者安心カード → 安心カードの更なる充実（登録対象者の範囲拡大等）。

4 地域で活動する ～自主防災組織～

(1) 自主防災組織編成

山岡地区自主防災隊は、自主的に防災活動を行い、被害の防止と軽減を図るため、山岡振興事務所、山岡地域自治区（運営委員会役員会）、山岡自治連合会（区長会）、恵那市消防団山岡分団、支部緊急初動特別班員（支部応援班員）で組織する。

○山岡地区自主防災隊編成表



【活動内容】

- ・ 防災知識の啓発
- ・ 災害危険箇所の把握及び周知
- ・ 防災訓練の内容・実施に関すること
- ・ 高齢者・独居老人・要援護者の把握と情報管理

- ・他地区との連携など

(2) 組織の編成

山岡町自主防災隊編成は、毎年4月末までに区ごとに編成を行う。

【重点活動】

i いのちを自分で守る ～自助～

家族（個人）の安全対策を第1に考えた普及啓発

- ・・・ハザードマップ、逃げ時マップ等による防災教育

ii 地域で活動する ～共助～

- ・・・要援護者支援 → 独居・高齢者安心カードの充実と引き継ぎ

(3) 平常時の活動

【家庭で】

- ① 各家庭での避難計画、避難経路図の作成と更新・・・逃げ時マップの確認
- ② 家族間の連絡手段・安否確認方法の決定、周知・・・ここに行きます。ここにいます。
- ③ 危険箇所の把握・・・想定される災害に応じた、避難場所と避難経路の確認
- ④ 移動の手段、非常持ち出し品の準備・・・個別

【地域で】

- ① 活動体制（自主防災隊の編成）の整備・・・年度ごとに役割分担の確認
- ② 防災知識の普及・啓発活動・・・地域住民への普及啓発、応急手当等の講習
- ③ 要援護者の把握・・・独居・高齢者安心カードの確認、引き継ぎ
- ④ 防災訓練の実施・・・逃げ時マップ、ハザードマップを活用した訓練、命を守る訓練
- ⑤ 地域の安全点検・・・危険箇所など、自分の住む地域を知る
- ⑥ 防災リーダーの育成・・・防災アカデミーへの参加（防災士の育成）
- ⑦ 食料・飲料水・防災資機材の備蓄状況確認及び点検・・・地区防災倉庫等

(4) 発災直前

- ① 情報収集・共有・伝達
- ② 要援護者への支援・避難誘導
- ③ 気象情報の確認

(5) 災害発生時

- ① 自身の安全確保
- ② 出火防止、初期消火
- ③ 率先避難、避難誘導・避難の支援
- ④ 情報収集・共有・伝達
- ⑤ 避難所運営支援

(6) 復旧・復興期

- ① 被災者に対する地域コミュニティ全体での支援
- ② 行政等と被災住民・地域住民が連携した復旧・復興活動の促進

5 実践と検証

(1) C+D A Pによる検証と継承

毎年度、C+D A Pによる活動を実施した検証結果を次年度に引継ぐ。

(2) 計画の見直し

この計画については、P D C Aサイクルに従って、毎年度、見直しを行い、内容を変更する必要がある場合は、所要の手続きを行う。

P D C Aサイクルとは・・・

P：計画（PLAN）、D：実施（DO）、C：点検・評価（CHECK）、A：処置・改善（ACTION）

これらの4段階を一年かけて行い、一周した「A：処置・改善」を次のPDCA サイクルにつなぐことで継続的な改善、質の向上をはかってゆきます。



独 居 ・ 高 齢 者 安 心 カ ー ド

登 録 日 平 成 年 月 日

登 録 番 号 番

住 所	恵那市山岡町				
氏 名		氏 名			
生年月日	T・S 年 月 日 歳	生年月日	T・S 年 月 日 歳		
TEL		携帯電話			
緊 急 時 連 絡 先		概略図			
連絡先住所					
TEL					
氏 名	続柄				
連絡先住所					
TEL					
氏 名	続柄				
自治区	号組	マップ番号 ○ - ○			
年度区長		継続	年度区長		継続
組長			組長		
年度区長		継続	年度区長		継続
組長			組長		
年度区長		継続	年度区長		継続
組長			組長		
年度区長		継続	年度区長		継続
組長			組長		
年度区長		継続	年度区長		月 日
組長			組長		転出・削除
担当民生委員		印			
担当民生委員		印	備考		




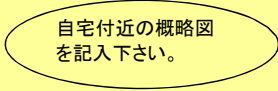
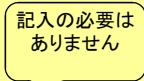

独 居 ・ 高 齢 者 安 心 カ ー ド

新規登録記入例

提出される日付を記入下さい

登 録 日 年 月 日

登録番号 番

住 所	恵那市山岡町上手向1228番地1				
氏 名	山 岡 太 郎		氏 名	山 岡 花 子	
生年月日	T 8 年 8 月 89 歳		生年月日	T 14 年 12 月 83 歳	
TEL	56-2111		携帯電話		
緊急時連絡先			  		
連絡先住所	恵那市山岡町				
TEL	56-2200				
氏 名	山岡二郎 続柄 子				
連絡先住所					
TEL					
氏 名	続柄		行政区 上手向 1 号組 マップ番号 ○ ○		
19年度区長		継続	24年度区長		継続
組長			組長		
20年度区長		継続	25年度区長		継続
組長			組長		
21年度区長		継続	26年度区長		継続
組長			組長		
22年度区長		継続	27年度区長		継続
組長			組長		
23年度区長		継続	年度区長		月 日
組長			組長		転出・削除
担当民生委員		印			
担当民生委員		印			

区長・組長（班長）で記入内容を確認し氏名を記入押印をお願いします。
裏面に同意書を記入ください。



独居・高齢者安心カード

引継記入例

登録日 平成 年 月 日

登録番号 番

住所	恵那市山岡町上手向1228番地1				
氏名	山岡太郎	氏名	山岡花子		
生年月日	T 8 年 8 月 8 日 89 歳	生年月日	T 14 年 12 月 5 日 83 歳		
TEL	56-2111	携帯電話			
緊急時連絡先		<input type="checkbox"/> 概略図 自宅周辺の地図の記入をお願いします。			
連絡先住所	恵那市山岡町				
TEL	56-2200				
氏名	山岡二郎 <small>続柄 子</small>				
連絡先住所					
TEL					
氏名	<small>続柄</small>				
自治区	上手向 1 号組 班	マップ番号 ○ - ○			
19年度区長	印	継続	24年度区長	印	継続
組長	印		組長	印	
20年度区長	印	継続	25年度区長	印	継続
組長	印		組長	印	
21年度区長	印	継続	26年度区長	印	継続
組長	印		組長	印	
22年度区長	印	継続	27年度区長	印	継続
組長	印		組長	印	
23年度区長	印	継続	年度区長	印	月 日
組長	印		組長	印	転出・削除
担当民生委員	印				
担当民生委員	印	<input type="checkbox"/> 備考			

引継ぎされる区長・組長(班長)で確認し氏名を記入押印をお願いします。
 死亡・転出等で異動のあった場合は、山岡振興事務所へ保管

個人情報提供同意書

危機管理(緊急時)に対する安全確保のためだけに利用する
私の個人情報(裏面)を提供することに同意いたします。

区長 様

平成 年 月 日

住 所

氏 名

印

<裏面>

個人情報提供同意書

危機管理（緊急時）に対する安全確保のためだけに利用する
私の個人情報（裏面）を提供することに同意いたします。

区長様

平成 年 月 日

住所 恵那市山岡町上手向1228番地1

氏名 山岡太郎 印

記入例

- ・二人の場合はそれぞれに記入下さい。
- ・日付は、提出される日を記入下さい。

個人情報提供同意書

危機管理（緊急時）に対する安全確保のためだけに利用する
私の個人情報（裏面）を提供することに同意いたします。

区長様

平成 年 月 日

住所 恵那市山岡町上手向1228番地1

氏名 山岡花子 印

- ・二人の場合はそれぞれに記入下さい。
- ・日付は、提出される日を記入下さい。